

外国人救援ネット・ニュース, No.1

地元NGO救援連絡会議外国人救援ネット, 1995.11.15

請求記号:震災-6-z33. - 8p

* 震災関連記事のみテキスト化しています

ニュース創刊にあたって

阪神大震災地元NGO救援連絡会議・外国人救援ネット代表
鷹取カトリック教会神父 神田 裕

阪神大震災での外国人被災者の医療費「肩代わり基金」の呼びかけにこたえてくださった皆様に、まずは感謝の言葉を述べさせていただきます。数百人にも上る皆様の温かいご支援によって、外国人被災者の方々は絶望の中に光を見ることができました。孤独の中にある彼らにもこんなにたくさんの仲間がいるのだということを改めて知ることができ、生きる希望を持つことができました。そして、被災地で活動が続ける私たちにとっても大きな励みとなりました。本当にありがとうございました。

[写真あり 省略]

神戸はこれから“まちづくり”をして行かなければなりません。しかしそれは単なる復旧ではなく、新しく生まれ変わる“まっづくり”です。私たちはこれからも引き続き神戸のまちで、外国人の支援活動を通して外国人と日本人が共に生きられる“まちづくり”をめざし、積極的に活動をし、神戸が真の意味で国際都市となれるよう働きかけて行きたいと思っています。

これからもよろしくお願いします。

外国人救援ネットの取り組み

外国人救援ネットでは、地震以後、被災された外国人の救援活動を行ってきました。大きな課題として、(1) オースティンの外国人の高額の治療費支払いの問題、(2) 災害弔慰金を支払われない3名の外国人（オースティンのペルー人と中国人、短期ビザの韓国人）の問題に取り組んでいます。

(1) については、兵庫県が復興基金の運用益を利用するかたちでの、「外国人県民緊急医療費損失特別補助事業」を始めました（申請期間／10月2日～11月30日、申請先／兵庫県国際交流課）。私たちが要望していた災害救助法による治療費の支払いではありませんでしたが、実質的な救済ができたという点は評価したいと思います。

(2) については、(1) の問題とともに行政当局と粘り強い交渉を続けてきましたが、神戸市が厚生省の「見解」に縛られて支払いを拒否し続けているため、外国人救済ネットとしてペルー、韓国、中国の3名の外国人の遺族に、100万円ずつお支払いすることに決定し、10月10日までに支払いを終えました。中国人については、右頁の新聞記事（神戸新聞、7月20日）のケースで、写真にのっている叔父さんの施恭香さんにお渡ししました。

外国人救済ネットが進めてきた「治療費肩代わり基金」は、多くの方々にご協力をいただき1000万円を越える募金が寄せられました。治療費については、国内の治療費が先の「補助事業」で支払われるようになったため、外国

人救援ネットとしては帰国後治療を継続しているペルー人2名及び中国人のケースについて各10万円をお支払いすることにし、救援ネットがお支払いした弔慰金（計300万円）もその募金よりお支払いしました。

外国人救援ネットでは、9月13日より下記の時間に外国人救援の6カ国語でのホットラインを開設しています。特に被災外国人の相談に限定していません。外国人に宣伝していただければ幸いです。TEL 078-232-1290
毎週水曜日（午後2時～8時）、土曜日（午前11時～午後5時）

救援ネットでは、来年以降も神戸市内で恒常的な外国人救援のセンターを作っていこうという展望をもって活動を行っています。引き続き募金活動にご協力をよろしくお願いします。
郵便振替<01100-2-60701 外国人救援ネット>

[新聞記事（災害弔慰金支払われず：外国人犠牲者に在留資格の壁）あり 省略]

生活相談ホットラインを始めました

外国人救援ネットでは、民間に広がるネットワークを生かして神戸で初めてNGOによる外国人のための電話による生活相談を9月13日より始めた。週2回で、水曜日が午後2時～8時、土曜日が午前11時～午後5時。

対応言語は、英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語、ペルシャ語、韓国・朝鮮語の8カ国語。
（※韓国・朝鮮語は兵庫県定住外国人復興センター、TEL 078-731-6926で対応）。

10月25日現在の相談件数は10件。内容は、求職2件、仕事上のトラブル・質問3件、人探し2件、ビザ・戸籍関係3件。相談内容は、書類の手続きに関するケースで、何らかの問題があり公的期間には不安で相談できなかったものや、人探しを警察に依頼したが相手にされなかったものなどがある。

まだ相談件数も少なく、引き続きマスメディアへの広報協力の要請やDMによるチラシの配布などを行なう必要がある。

同時に、相談内容によっては通訳が相談者に同行する必要があるため、各国語のボランティアを募集中。よろしく。
（ホットライン担当／吉富志津代）

Linea abierta
Para aquellos residentes en el area
de
Kobe.
miercoles 14 : 00-20 : 00
sabado 11 : 00-17 : 00
078-232-1290

日本での生活、外国人の人権を守る
ホットライン（無料）
毎週水曜日：14：00-20：00
毎週土曜日：11：00-17：00
外国人救援ネット・神戸
078-232-1290

英語・中国語・タガログ語・スペイン語・ポルトガル語・ペルシャ語などで対応します。
定住外国人生活復興センター（韓国朝鮮語で対応します。）
078-731-6926